

○青森児童美術研究会 理事 工藤玲子氏

コロナ禍の中での作品募集でしたが、応募校数、応募数が共に前年を上回りました。休校などの影響で学校行事や学校給食の題材は少なかったものの、日々の生活の中で心に残ったことを「ごはん・お米とわたし」を題材にして、生き生きと表現した作品に数多く出会いました。

題材は、家族や友だちと美味しいおにぎりやごはんを楽しく頂いたり、作ったりしたことや田植え、稲刈りの体験等を表現した素晴らしい作品が多く見られました。その中で、画面構成や彩色を工夫して人物を表情豊かに描き、米粒を丁寧に描いた「おいしくなあれ」の力作が印象的でした。